



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和3年4月23日
NO. 13



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

まさかに備えて

東日本大震災から10年が経ちましたが、ここ最近、地震がたびたび起こっています。また、地震に限らず、豪雨や暴風雨・暴風雪等々でも大きな被害を被る可能性がある太田地域です。そんな地域に存在する本校では今後一層防災学習に力を入れなければなりません。被災地交流や被災地学習、避難訓練や地域防災学習などの大きな学びの場はもちろんですが、予告なしの不意の訓練にも、慌てることなく平然と安全行動をとることができる太中生になってほしいと思っています。そのため、今年度は、予告なしに、様々な場面を想定したシェークアウト訓練を毎月のように実施する予定です。日常の訓練の積み重ねが、子どもたちの防災意識の高さにつながっていくことを、防災学習に力を入れている学校では常々口にしています。



そこで、4月21日(水)、地震を想定した、今年度1回目のシェークアウト訓練を行いました。1年生も小学

校で何度も経験しているからでしょう、慌てたりふざけたりすることなく、素早く身を守る行動をとる姿が見られ、防災意識の高さを実感しました。今後、毎月のように、様々な場面を想定したトレーニング型の訓練と新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、消防署の方を講師にお招きして、体験を伴う訓練も実施していきたいと考えています。

地震に限らず、火災やその他の天災、交通事故、不審者などからも自分の身を守らなければいけません。そのためにはまず、「自分の命は自分で守る」そんな心構えと準備が一番大切であり、その上でのトレーニング的な訓練の繰り返しが効果的です。

また、災害全体を考えた時、ある調査では、「子どもたちや教師が学校に居る時間は年間の中で22%~25%位で、学校にいない時間の方が断然多い。すなわち、子どもも教師も学校に居ない時間に災害が起きることが多い。そのとき、教師も子どももどう対処するかを決めておく、家族で話し合っておくことが大切」とあります。御家庭でも、大地震発生時に限らず様々な災害発生時の家族の対応について確認しておくことも必要となります。そのときに備え、家族で話し合う時間をもっていたいただければ幸いです。

春季大会に臨む我が太中生 明日の勝利を目指して!

仲間たちと互いにエールを交換しながら、明日からの春季大会に臨む各運動部の選手たち……。強豪太田の自信と太田Prideを胸に、一人一人が粘り強さを発揮し、戦い抜いてきてほしいと願っています。どの部にも好結果、満足できる結果を残してきてほしいのですが、結果以上に冬に培った力を出し切り、夏の本番への課題を見付けることもこの大会の意味するところでは。春季大会では、全校で壮行会は行いませんでしたので、壮行会の代わりに私から名選手・名コーチの言葉を借りて、応援メッセージを選手に送り、激励したいと思います。

本番は夏!本番での目標を達成するための今の状況の把握と課題を見付ける春季大会であってほしい。そのためには本気で戦わなければならない。本気の心構え・・・

今を戦えない者に次とか来年とかを言う資格はない (サッカー:R.パッジョ)

誰でも勝ちたいとは思いますが勝つために頑張れる奴は少ない (バスケットボールコーチ:ポビーナイト)

サッカーの神様などいない頼れるのは自分だけ (サッカー:澤 穂希)

敵と戦う時間は短い自分との戦いこそが明暗を分ける (野球:王 貞治)

負けることは悔しい
でも決して恥ずかしいことではない

応援は大きな力になります。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、全競技無観客の大会となりました。保護者の皆様は会場に入ることはできませんが、子どもたちのがんばる姿を思い浮かべながら、心の中での熱い激励と応援をお願いいたします。